

令和4年度 能勢町各会計決算を認定 決算常任委員会報告

令和4年度各会計歳入歳出決算について委員会を開催し、9月19日に産業建設部、教育委員会、21日に福祉部、総務部、出納室、議会事務局、25日に特別会計を審査しました。

採決の結果、一般会計は賛成多数で、各特別会計は全員賛成で、認定すべきものと決定しました。主な質疑応答は次のとおりです。

◇令和4年度能勢町一般会計歳入歳出決算認定について

原案認定

平田 要	井上加奈子	難波希美子	西河 巧	岡本ひとし	中西 顕治	中植 昭彦	奥 久明	太田 祐介	森田 則子
○	○	○	○	欠席	○	委員長代行	×	○	委員長欠席

注:委員長は採決に加わりません。

総務部（総務課・理財課・住民課）、出納室、議会事務局

問 令和3年度から令和4年度の経常収支比率が上がった要因について問う。

答 普通交付税と臨時財政対策債を足した実質的交付額が減少したことが要因である。経常収支比率を低くすることになれば、経常支出を削減することになるので、必要なものを精査し、今後の財政運営に努めていきたい。

問 ふるさと応援寄附金事業について、年々寄附金額が増加している。今年度の主な取組みについて問う。

答 令和4年度の寄附金は約3700万円となっており、経費は約2000万円である。新たにポータルサイトを追加した。また、製菓製造業の事業者が加わったことにより大幅に増加している。

問 起債の見解、財政計画の立て方に対する考え、過疎債のソフト事業について問う。

答 起債の償還については、借り入れ年限も踏まえて慎重に検討した上で発行していきたい。地方交付税の財源保証と財源調整機能を踏まえた中で対応していきたい。過疎債のソフト事業について、令和4年度は4520万円の発行が可能となり、庁内横串を通すような形の中で議論し、真に必要な事業に充当していきたい。

問 住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業、電力等価格高騰緊急支援給付金事業について問う。

答 住民税非課税世帯への給付は、対象世帯が1561世帯であり、給付が1453世帯である。給付率は93.1%となっている。
電力高騰支援については、対象世帯が1430世帯であり、給付が1312世帯である。給付率は91.7%である。他の自治体の数値は正確には把握していないが、比較的高い数字であると認識している。

問 能勢町の認知度向上のためのチラシ配布はどこで行われているのか問う。

答 浄るりシアターでのイベント(5公演)で2500枚ほど配布している。町外の来場者が多いので一定の効果があつたと考えている。

問 乗合タクシーの利用状況と、稼働率向上に向けた取組みについて問う。

答 令和4年7月から令和5年6月までの実績で、運行回数が754回、稼働率は69.3%である。住民説明会を開催しており、また、地域公共交通会議でも引き続き議論いただいている。

問 令和4年度に着任された地域おこし協力隊の活動について問う。

答 豊中高校能勢分校の里山留学制度の定着に向けて町内各所にて周知を行うとともに、プログラムの企画・運営や、新たな里山ファミリーの掘り起こし、分校との連絡調整を行っている。

問 ひとり親家庭医療費助成件数の増加について問う。

答 対象数が増加している。申請制となっているので、制度の周知の継続を図っていきたい。

問 コミュニティ助成事業における、自治会館の新築助成について問う。

答 助成は事業費の5分の3以内ということから積算されたものである。上限が1500万円で5分の3以内となっている。

問 消防団再編と報酬の支払いについて問う。

答 現在の登録団員は429名であり、消防団再編の検討委員会で議論を進めている。報酬については本年度より個人口座への振込になっている。